

平成30年 第1回
議会報告会

平成30年5月27日（日）、関と峠田を会場に平成30年度第1回議会報告会を開催し、平成30年度の主な事業や予算内容を報告した後、参加者との意見交換会を行いましたので、その一部をお知らせします。



災害対策

問 峠田地区の水上沢増水被害防止に対する改善要望が具体的に進んでいない。

答 増水箇所は国道なので県が直接の対応となる訳ですが、議会としても担当課と共に現地調査をしたいと思いません。

国民健康保険

問 国民健康保険の資産割りは全国的に適用されていたのか。

答 今年より廃止された資産割りの適用は自治体により異なり、全国統一ではありませんでした。

町営バス

問 町外からの通学生に町が費用を負担するのはおかしい。町外者は料金に差をつけるべきではないか。

答 通学バスの増便へ県からの交付金が上乗せされており、町では町外者に対する利用料金への差は考えていないようです。

観光施設

問 スキー場の従業員確保の実状や将来性を考えて存続を検討すべきであり、通年営業できる工夫をするべきではないか。

答 従業員は町外者に頼る状況で施設の修理や更新に毎年多くの予算が使われています。冬期間の営業日が100日未満でもあり、夏場の誘客を考えるべきだと思います。

問 「山の遊び館」建築の補助金は。

答 地方創生拠点整備交付金を利用して建設補助率は50%となります。

公共施設

問 各施設の連携で季節的な雇用でも人手不足の解消や諸問題の解決につながるのではないか。

答 各施設の生き残りを図るためにも連携したいという考えがあるようです。

太陽光発電

問 柏木山太陽光発電開始後の町のメリットは。

答 平成31年度から20年間で4億円のほか、年680万円の土地の賃貸料が町の収入になり、農林業の活性化のため利用されます。

町の財政

問 町では様々な事業をしているが、町の借金について議会として心配はしていないのか。

答 長期的には建物の老朽化やメンテナンスなどの心配はありますが、町の状況は監査報告で健全な状態と報告を受けています。

議会改革

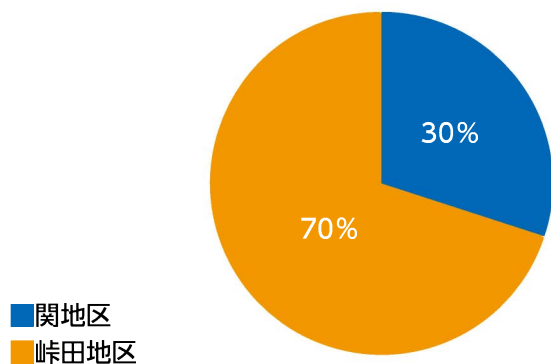
問 議員定数削減は人口減少の割合で行ったのか。定数を削減しても報酬を上げれば何も変わらないのではないかと。

答 議会改革特別委員会で調査研究し、1名減の合意に至りました。報酬は全国的に議員のなり手が少ない中、若者の議員確保が望ましいことから見直しました。

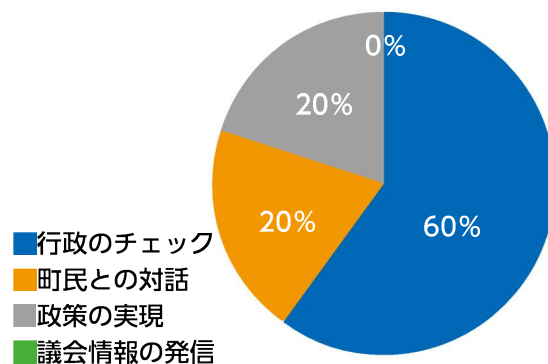
議会（議員）活動の見えにくい中で、できるだけ議会の動きをお伝えしながら、皆さんの色々なご意見を拝聴し、更なる議会活動につなげ、政策提言や行政へのチェック機能を果たしていきたいと考えています。

実行委員長 管原研治

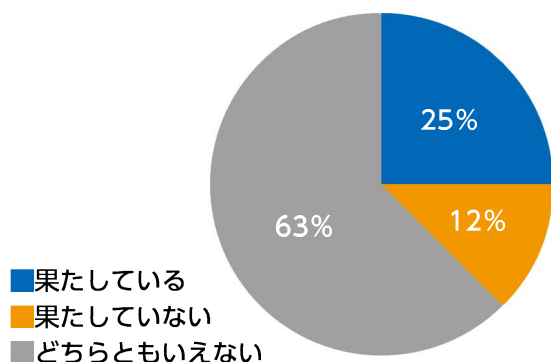
地区別参加状況



議会に期待すること



議会活動の評価



情報公開

